

にぎわいを生むインターフェイス

担当教員：今井公太郎 + 本間裕大 + 大井鉄也 + 高濱史子 + 本間健太郎 + 矢野寿洋 + 新井崇俊

■背景

オリンピックに向けて再編がすすむ東京。虎ノ門ヒルズから新橋に至る「新虎通り」もその一つです。ここは古くからある都心のオフィス街でしたが、新道開通とそれに伴う再開発によって、にぎやかな街に生まれ変わろうとしています。

■課題

新虎通り全域が敷地です。通りのデザインを行います。にぎわいを生む<デバイス>の設計が課題です。「何に注目してどのようなデバイスを設計するか」を決める根拠として、地域一体の<アクティビティ>を定量的に把握し、地域分析を行うこと。アクティビティとして何に着眼するかは自由です。例えば人の流れ・滞留分布・街路パターン・視線の抜け方・環境的パラメーターなどが考えられるでしょう。自由に発想してください。

■トレーニング

・解析スキル

数理解析：都市建築空間に対する数理解析手法を身につける（コーチするので現在のスキルは問いません）
 コンセプト：地域のコンテクストを読み解き、何を提案すべきか企画する能力を養う

・デザイン能力

設計：建築計画（規模計画・動線計画・寸法計画）の基礎、構造的・設備的フィージビリティについての感覚、現実的な諸条件への対応力を身につける
 表現：図面表現・模型表現・デジタル表現のブラッシュアップ（コーチおよび模型材料の提供を行います）

・社会発信力

学外の地域関係者へのプレゼンテーションを予定しています

対象：大学院のみ 定員：なし
 場所：東大生産研（駒場IIキャンパス）cw701 今井研
 （初回 4/14 は敷地周辺を予定）
 時間：基本毎週火曜 13:30 集合

スケジュール（今のところ）

